



UMIX1010 RACK

ProDrive III

10 入力 / 10 出力、+48V ファンタム電源付きレコーディング
USB インターフェース



ユーザーズマニュアル

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

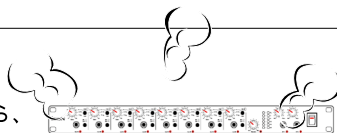
故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す
記号



火災



感電

指 み



行為を禁止
する記号



禁止

分解
禁止接
禁止

行為を指示
する記号

プラグを
コンセ
ントから抜く

強制



強制



強制

**警告**

火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容

はじめに	4
付属品をご確認ください	4
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください	5
機能	6
フロントパネル	7
リヤパネル	9
Mac ドライバのインストール	11
ミキサコントロールパネル	13
Windows ドライバのインストール	15
ProDrive III	18
ミキサコントロールパネル	19
設定 (サンプルレートと遅延の設定)	22
ProDrive III ホスティングラック	26
ハードウェアの接続	27
仕様	28
修理について	29

はじめに

ICON Umix1010Rack シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースを

お買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、Umix1010Rack シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェース

の特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

次のリンクのサイトから製品を登録してください：www.iconproaudio.com/registration:

次の手順に従ってください。まず、デバイスのシリアル番号と個人情報などを記入します。www.iconproaudio.com にてオンラインで製品をご登録いただくと、サービスやアフターセールスサポートを弊社のヘルプセンターからお受けになることができます。また、個人製品ページでお客様のアカウントに登録済み製品が表示されるので、そこでお使いのデバイスのファームウェア / ドライバのアップグレード、ソフトウェアバンドル、ユーザーマニュアルのダウンロードなど行うことができます。

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万一修理のため本製品を弊社に返送していただく場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

付属品をご確認ください

- Umix1010Rack USB レコーディングインターフェース
- 本ユーザーマニュアル
- USB 2.0 ケーブル

お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

機能



ICON Umix1010Rack USB レコーディングインターフェースは、USB 接続可能なオーディオ入出力モジュールです。主な機能：

- 24 ビット 192KHz 10 入力 /10 出力 USB レコーディングインターフェース。
- 高ダイナミックレンジ：
AD 114dB
DA 114dB
- 8x8 アナログ I/O フルデュプレックス録音再生。
- 8x 独立ゲインコントロールとファンタム電源スイッチ付きマイク / 楽器用プリアンプ
- 1/4 インチ TRS ジャックによるアナログ出力 8 個。
- S/PDIF I/O RCA 同軸コネクター。
- 1 x 1 – 16 チャンネル MIDI I/O。
- フロントパネルのマスターボリュームコントロール。
- トップパネルのダイレクトモニタリングコントロールつまみ
- ソース割当可能なヘッドホン出力 2 個。専用ボリュームコントロール付き。
- ソフトウェアコントロールパネルによるフレキシブルチャンネルルーティング。
- ICON の画期的な ProDrive III ™ プラグインホスティングラックが提供されます
- 別の プラグインが提供されます。
- 高速 USB2.0 装着。USB バス電源。
- DirectSound、WDM、ASIO2.0 をサポート。
- Mac OS (Intel-Mac) 10.11 以降と互換性があります、iOS 9 以降、Windows 7、Windows 8、Windows 10 (32 ビット /64 ビット) 対応。
- フルデュプレックス、同時録音再生。
- iOS で使用する場合の外部電源用 +12VDC 電源コネクタが装着されています。
- 堅牢なアルミニウム筐体。

フロントパネル



1. HI-Z 入力

ギター / ベース用ハイインピーダンス入力。

2. 「Inst/Mic」 入力スイッチ

入力 1-8 のマイク / ハイインピーダンス入力切替スイッチ。

3. 入力ゲインレベルコントロール 1-8

関連アナログマイク / 楽器 / ライン入力の入力レベルコントロール用ポテンシオメータ。

4. 48V ファンタム電源スイッチ

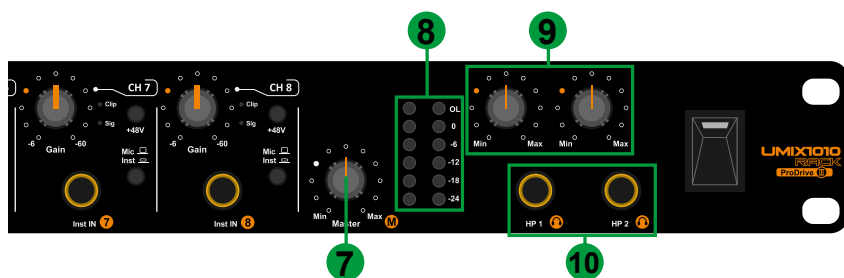
このスイッチを押すと、それに関連した XLR(後面パネル) 入力に 48V ファンタム電源が供給されます。このファンタム電源はほとんどのコンデンサマイクに使用できます。

5. Sig (信号 LED インジケータ)

この LED が点灯した場合は、関連した MIC/INST 入力にオーディオ信号が存在することを示します。

6. Clip (クリップ LED インジケータ)

この LED が点灯した場合は、関連した MIC/INST 入力のクリッピングの入力レベルを示します。この LED は、信号がクリッピングポイントから 3dB 下になると点灯します。



7. マスターレベルコントロール

アナログ出力のマスター出力レベル (出力 Ch.1-2) を調整するポテンシオメータ。

8. 出力レベルメーターリング

マスター出力チャンネルの出力レベルを表示します。

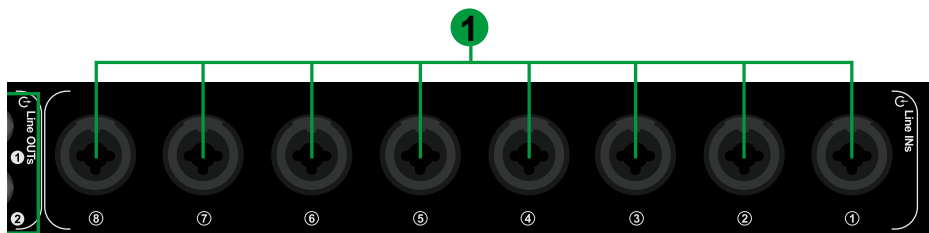
9. ヘッドホン・レベル・コントロール 1～2

ヘッドホン出力の出力レベルを調整するポテンシオメータ。

10. ヘッドホン出力 1～2

標準 1/4 インチ TRS ヘッドホン・コネクタ接続用出力ジャック。

リヤパネル



1. 「Mic/Inst」入力 1～8

バランスマイク / ラインレベル入力。このハイブリッド・コネクタには、標準 3 ピン XLR プラグまたは 1/4 インチ TS コネクタが接続できます。



2. ライン出力 1-8

+6dBu ライン・レベルの平衡アナログ出力用標準 1/4 インチ TS コネクター。

3. S/PDIF 同軸 I/O コネクタ

S/PDIF デジタル入出力用同軸 RCA コネクタ。このデジタル入力、Umix1010Rack のソフトウェアコントロールで選択できます。デジタル出力は同軸ケーブルに送出されます。

4. MIDI I/O コネクタ

MIDI 入出力用標準 5 ピン DIN コネクタ。

5. USB 2.0 コネクター

付属のケーブルで、本器とご使用の Mac または PC の USB コネクターとを接続します。ご使用の Mac または PC が USB2.0 接続可能でなければ、Umix1010Rack をフルスピードで動作させることはできません。

6. 12V/3A 電源アダプター (オプション)

ここに、付属の電源アダプターを接続します。

注意: Umix1010Rack は、付属の電源アダプターを接続しなければ動作しません。USB バス電源では、Umix1010Rack を動作させるための十分な電源を供給することはできません。.

Mac ドライバのインストール

Umix1010Rack はクラスコンプライアンスデバイスです。従って、Mac にドライバをインストールする必要がありません。さらに、カメラキットに接続すると iOS デバイスがフルサポートされます。

次の手順に従って、Umix1010Rack シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. Mac の電源を入れる

(注意: ここではまだ Mac に Umix1010Rack シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください)

2. クラスコンプライアンスデバイス

Umix1010Rack は Mac OSX のクラスコンプライアンスデバイスなのでドライバをインストールする必要がありません。

3. デスクトップにソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをコピーする

上で示した「Mac」フォルダを開きます。「ProDrive III」ソフトウェアパネルのショートカットロゴをコピーし、デスクトップに貼り付けてください。

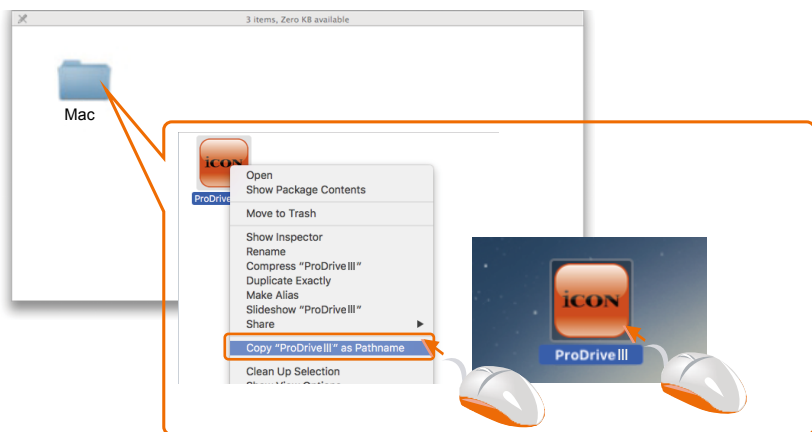


図 1

4. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

たった今デスクトップにコピーした Umix1010Rack ソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します。

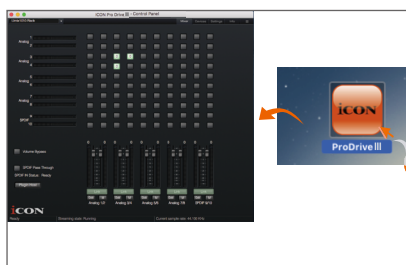


図 2

5. Umix1010Rack デジタルオーディオインターフェイスの接続

さあ、お使いの Mac の USB ポートに Umix1010Rack デジタルオーディオインターフェイスを接続しましょう。

注意： Umix1010Rack オーディオインターフェイスは USB2.0 のみをサポートします。ですから、お使いの Mac には USB 2.0 ポートが装着されていなければなりません。



図 3

6. オーディオ MIDI セットアップ

「オーディオ MIDI セットアップ」ウィンドウを開き、下の図 4 のように、Umix1010Rack デバイスのセットアップが正しく行なわれたかを確認してください。

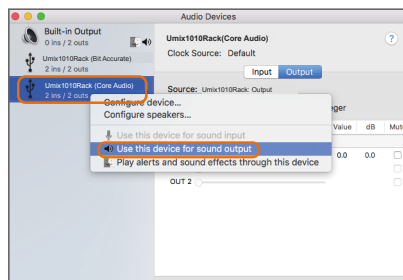


図 4

ミキサコントロールパネル

本ミキサはマトリックスミキサと同様に作動します。対応する入力または出力チャンネルレベルを起動して調整してください。これらは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行えます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

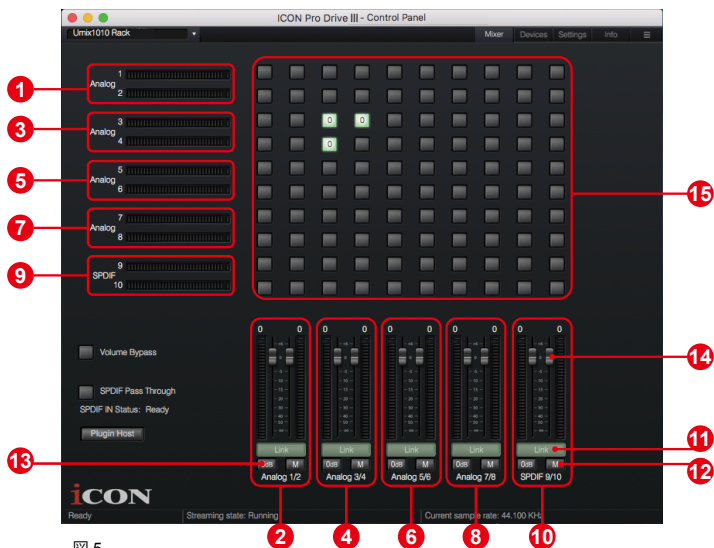


図 5

- 1. HW Input 1/2 レベルメーターリング**
ハードウェア入力 1/2 入力レベルを表示します (HW In 1/2)。
- 2. HW Output 1/2 出力レベルを表示します**
ハードウェア出力 1/2 出力レベルを表示します (HW Out 1/2)。
- 3. HW Input 3/4 レベルメーターリング**
ハードウェア入力 3/4 入力レベルを表示します (HW In 3/4)。
- 4. HW Output 3/4 出力レベルを表示します**
ハードウェア出力 3/4 出力レベルを表示します (HW Out 3/4)。
- 5. HW Input 5/6 レベルメーターリング**
ハードウェア入力 5/6 入力レベルを表示します (HW In 5/6)。
- 6. HW Output 5/6 出力レベルを表示します**
ハードウェア出力 5/6 出力レベルを表示します (HW Out 5/6)。
- 7. HW Input 7/8 レベルメーターリング**
ハードウェア入力 7/8 入力レベルを表示します (HW In 7/8)。
- 8. HW Output 7/8 出力レベルを表示します**
ハードウェア出力 7/8 出力レベルを表示します (HW Out 7/8)。

9. S/PDIF In 9/10

S/PDIF 9/10 入力レベルを表示します (S/PDIF In 9/10)。

10. S/PDIF Out 9/10

S/PDIF 9/10 出力レベルを表示します (S/PDIF Out 9/10)。

11. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

12. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

13. 「0dB」 スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

14. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

15. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

Windows ドライバのインストール

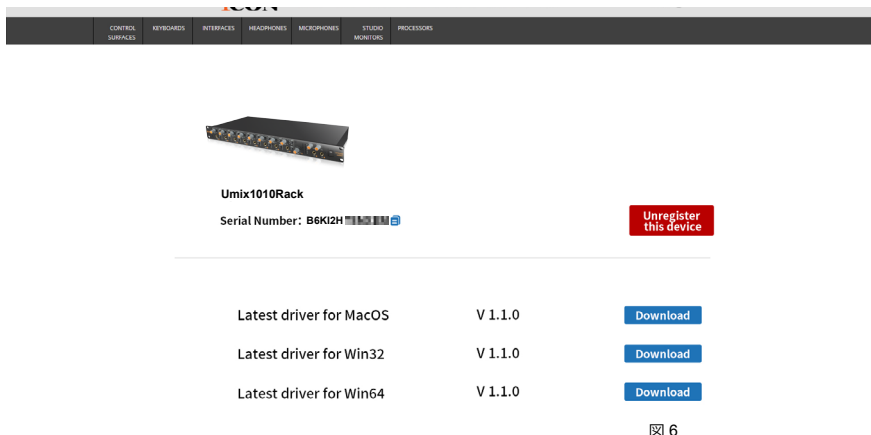
次の手順に従って、Umix1010Rack シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. コンピュータの電源を入れる

注意: ここではまだコンピュータに Umix1010Rack シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください。

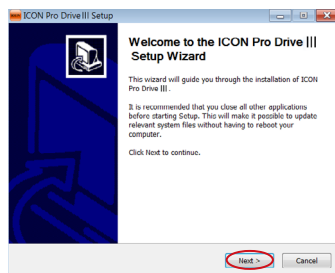
2. www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします

C ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。



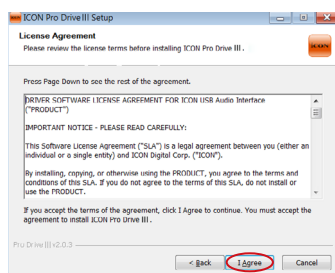
3. インストールウィザードが表示される

図7のような「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」を選択してください。



4. ライセンス契約書

「I Agree」をクリックして続けます。



5. インストールしたいコンポーネントを選択する

インストールしたいコンポーネントにチェックマークを入れてください。全部のコンポーネントを選択するよう強くお勧めします。

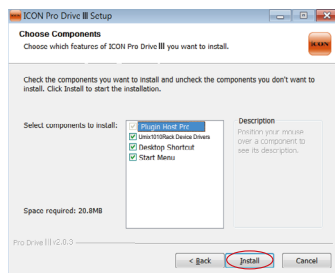


図 9

6. ファイルのインストールの準備

インストールプロセスが開始されます。ご使用のコンピュータの性能によってこのプロセスに要する時間が異なります。プロセスが終了するまでお待ちください。

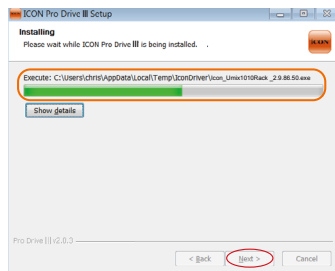


図 10

7. 「Install」をクリックして継続します。

注意：ドライバが3回別々にインストールされるので、同じメッセージが3回表示されることがあります。



図 11

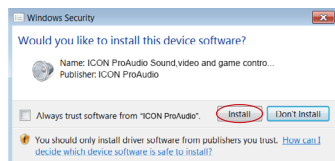


図 12

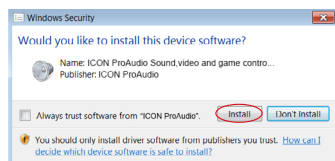


図 13

8. セットアップの完了

図 14 のようなウィンドウが表示されます。「フィニッシュ」を選択してください。

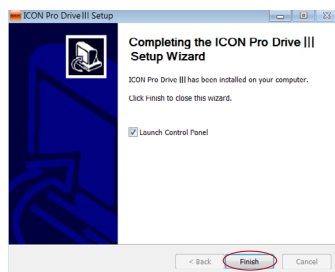


図 14

9. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

システムトレイの Umix1010Rack ロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します (19 ページ)。

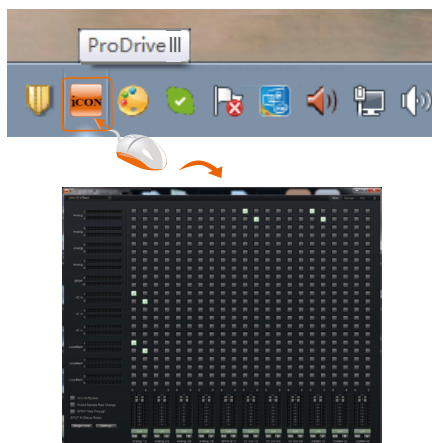


図 15

10. Umix1010Rack シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続する

ではここで、コンピュータの USB ポートに Umix1010Rack シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続して。



図 16

ProDrive III

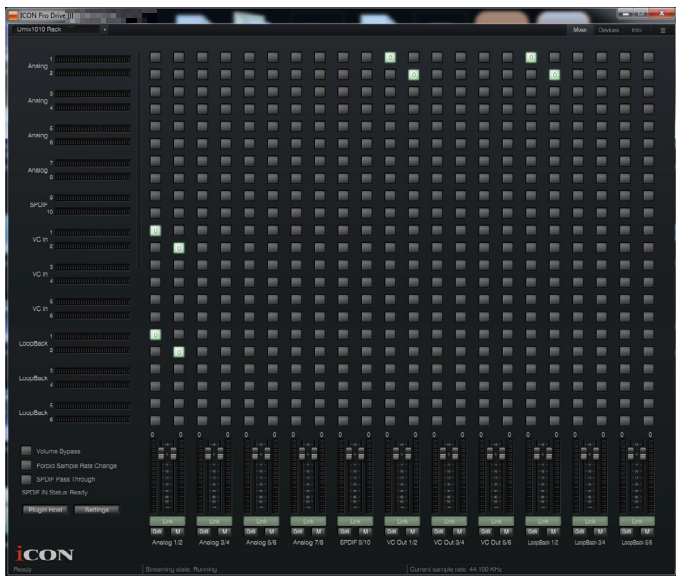


图 17

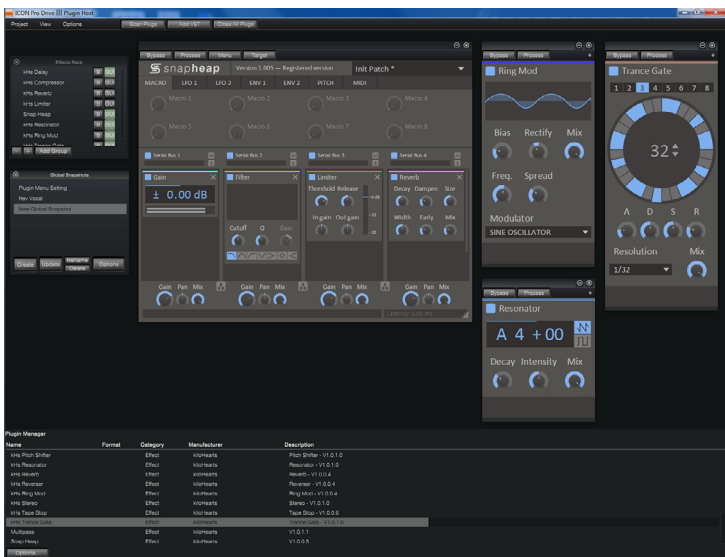


Figure 18 is a line graph with the x-axis labeled 'Number of people' and the y-axis labeled 'Number of people who are not in the group'. The x-axis ranges from 0 to 10 with major ticks every 2 units. The y-axis ranges from 0 to 10 with major ticks every 2 units. A straight line is plotted, starting at the point (0, 10) and ending at the point (10, 0). The line has a negative slope of -1. The equation of the line is $y = -x + 10$.

Umix1010Rack の柔軟性を向上させパワフルにすべく、新テクノロジー ProDrive III が開発されました。これは、弊社が誇る画期的な ラック、プラグインホスト、仮想信号ルーターです。スタンドアロンで実行させることも、お好みの DAW で動作させることもできます。デジタルオーディオワークステーションを通じて実行せずに、ギターモデリング を立ち上げて演奏したり、MIDI コントローラーを接続してお好みの仮想楽器を制御することができます。

ミキサコントロールパネル

ミキサコントロールパネルには、3種類の操作可能な主要 ASIO チャンネルがあります。

1. Umix1010Rack ハードウェアチャンネル (HW In 1/2、3/4、5/6、7/8 と HW Out 1/2、3/4、5/6、7/8)

これは Umix1010Rack のハードウェア入出力チャンネルです。

2. Umix1010Rack S/PDIF チャンネル (S/PDIF In 9/10、S/PDIF Out 9/10)

これは Umix1010Rack の S/PDIF 入出力チャンネルです。

3. Umix1010Rack 仮想チャンネル (VC In 1/2、3/4、5/6)、(VC Out 1/2、3/4、5/6)

これは WDM に関連した仮想入出力チャンネルです。

例： WDM Out 1/2 を VC In1/2 にリンクさせる

VC Out1/2 を WDM In1/2 にリンクさせる

4. Umix1010Rack ループバックチャンネル (LB 1/2、3/4、5/6)

これは ASIO ループバックチャンネルです。

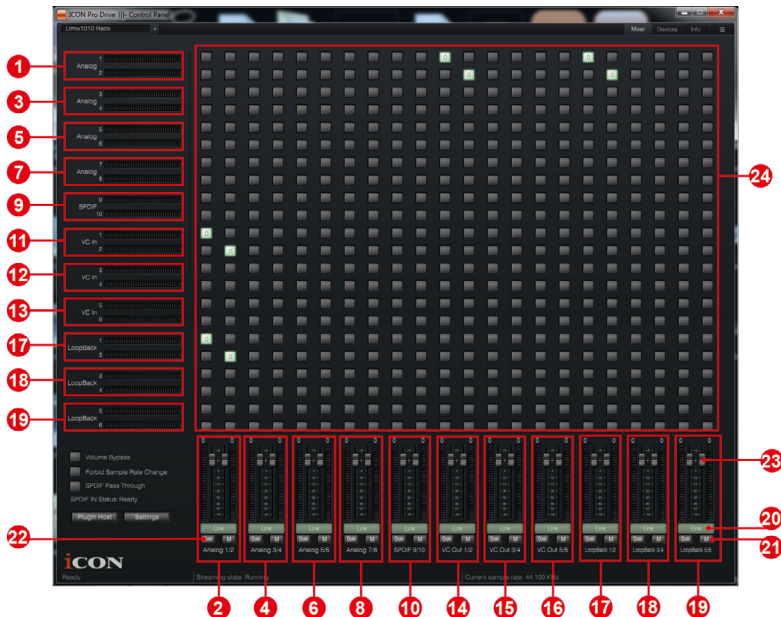


図 19

異なるクロスポイント起動すると、希望のチャンネルに、それに対応する信号を送ることができます。

1. HW Input 1/2 レベルメーターリング

ハードウェア入力 1/2 入力レベルを表示します (HW In 1/2)。

2. HW Output 1/2 出力レベルを表示します

ハードウェア出力 1/2 出力レベルを表示します (HW Out 1/2)。

3. HW Input 3/4 レベルメーターリング

ハードウェア入力 3/4 入力レベルを表示します (HW In 3/4)。

4. HW Output 3/4 出力レベルを表示します

ハードウェア出力 3/4 出力レベルを表示します (HW Out 3/4)。

5. HW Input 5/6 レベルメーターリング

ハードウェア入力 5/6 入力レベルを表示します (HW In 5/6)。

6. HW Output 5/6 出力レベルを表示します

ハードウェア出力 5/6 出力レベルを表示します (HW Out 5/6)。

7. HW Input 7/8 レベルメーターリング

ハードウェア入力 7/8 入力レベルを表示します (HW In 7/8)。

8. HW Output 7/8 出力レベルを表示します

ハードウェア出力 7/8 出力レベルを表示します (HW Out 7/8)。

9. S/PDIF In 9/10

S/PDIF 9/10 入力レベルを表示します (S/PDIF In 9/10)。

10. S/PDIF Out 9/10

S/PDIF 9/10 出力レベルを表示します (S/PDIF Out 9/10)。

11. VC In 1/2 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 1/2 入力レベルを表示します (VC In 1/2)。

12. VC In 3/4 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 3/4 入力レベルを表示します (VC In 3/4)。

13. VC In 5/6 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 5/6 入力レベルを表示します (VC In 5/6)。

14. VC Out 1/2 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 1/2 VC 出力レベルを表示します (VC Out 1/2)。

15. VC Out 3/4 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 3/4 VC 出力レベルを表示します (VC Out 3/4)。

16. VC Out 5/6 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 5/6 VC 出力レベルを表示します (VC Out 5/6)。

17. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

18. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

19. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

20. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

21. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

22. 「0dB」 スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

23. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

24. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

設定 (サンプルレートと遅延の設定)

「Setting」 ボタンをクリックすると設定ウィンドウが起動します。

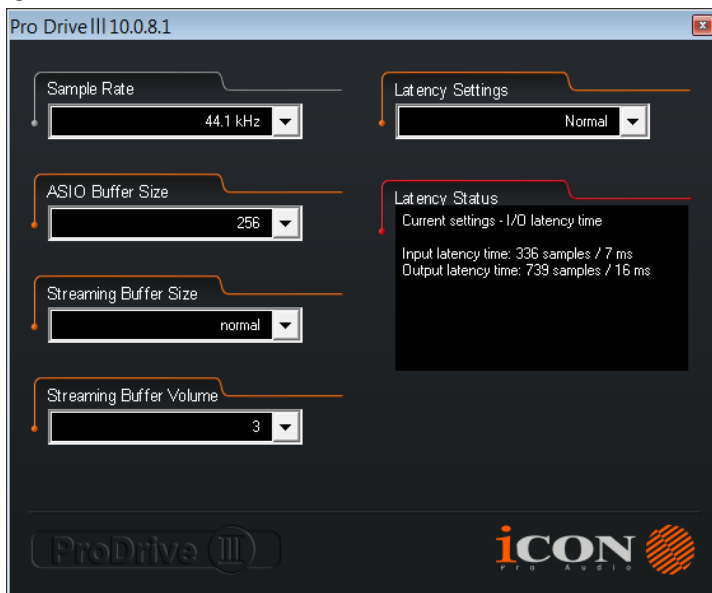


図 20

サンプリングレートの設定

図 21 のプルダウンウィンドウで、44.1KHz ~ 192KHz のいずれか希望のサンプリングレートを選択してください。

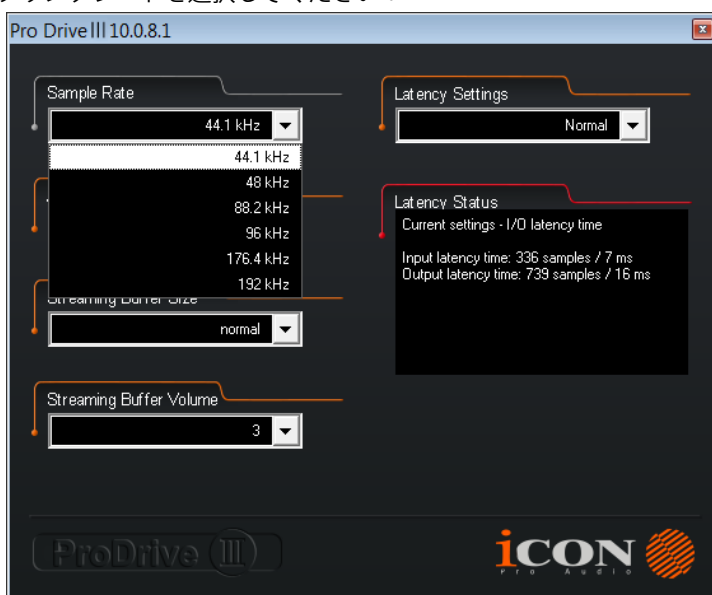


図 21

遅延設定

6 個の設定から遅延が選択できます。ご自分で遅延の値をカスタマイズしたい場合は custom を選択してください。

- 安全 (最大の遅延)
- きわめて大
- 通常
- 小
- きわめて小
- 最小 (最小の遅延)
- カスタム

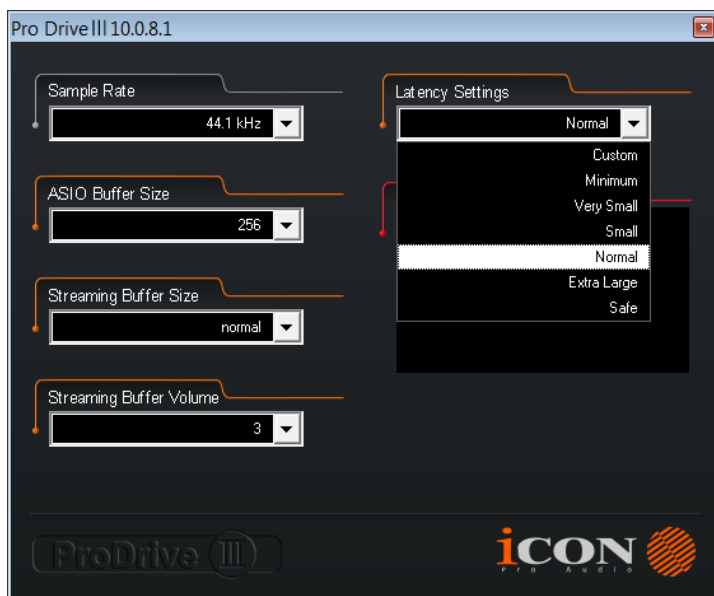


図 22

ご自分で遅延設定をカスタマイズできるように、3種類の設定があります：選択できる値：

1. ASIO バッファサイズ

値は、32/64/128/256/512/1024/2048/4096 に調整できます。

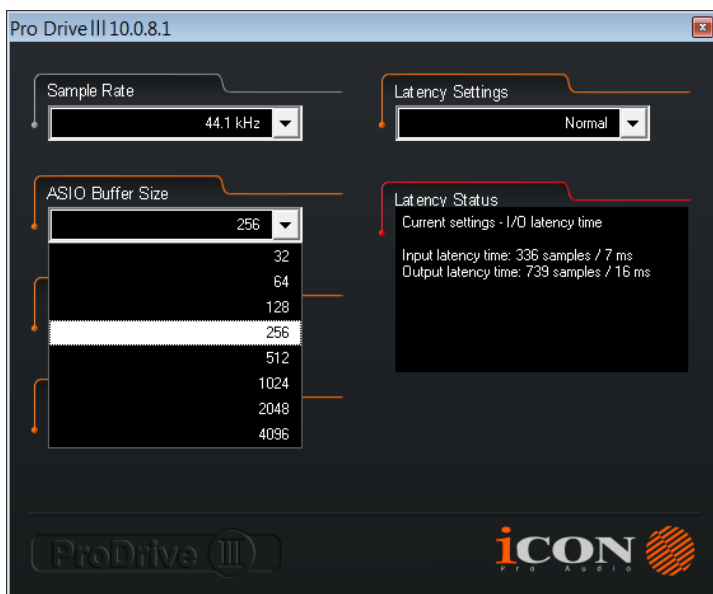


図 23

2. ストリーミングバッファサイズ

調整可能な設定：最低 / 低 / 通常 / 高 / 最高

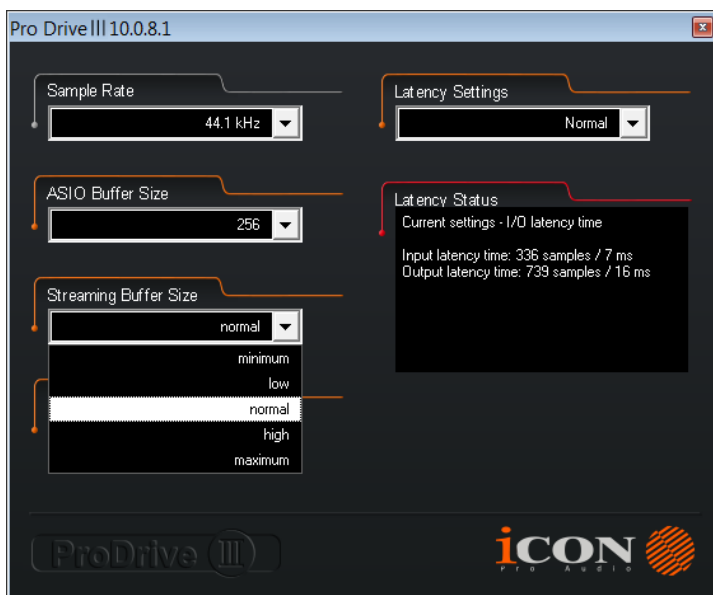


図 24

3. ストリーミングバッファボリューム

調整可能な値：2/3/4

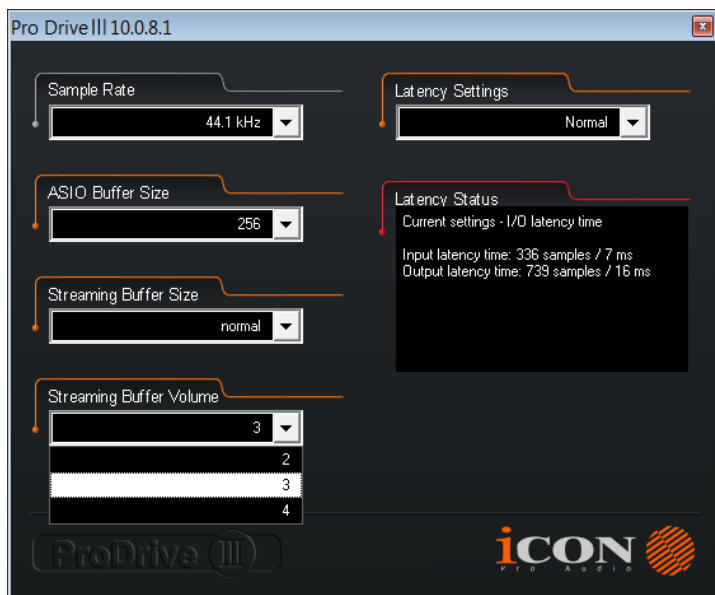


図 25

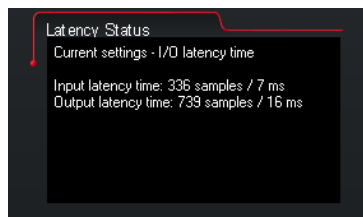
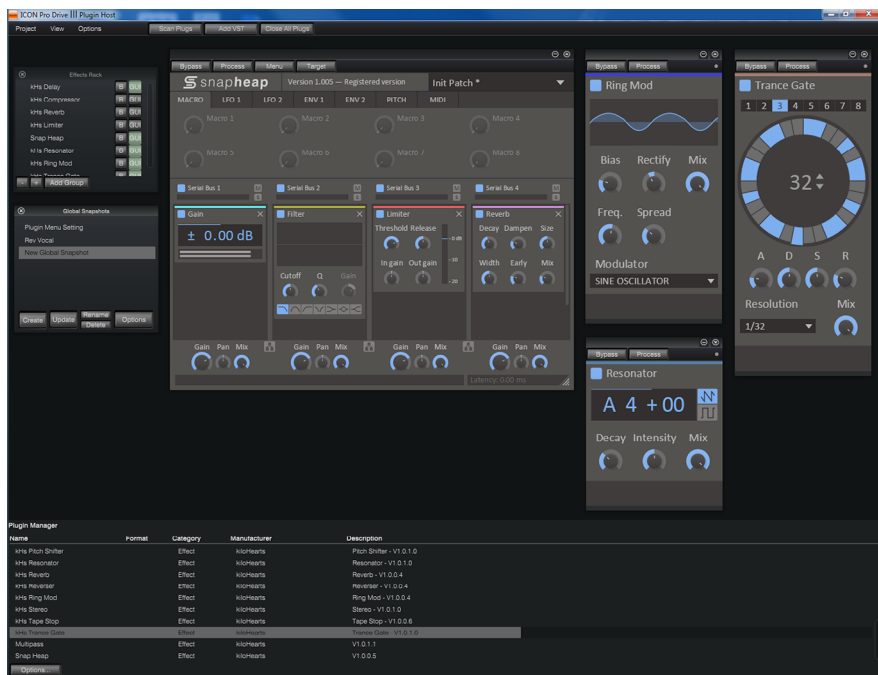


図 26

(**注意** : 「Latency Status」 ウィンドウに警告メッセージが表示されたら、大きな遅延の値を調整してください。)

(**注意** : クリック音が聞こえたら、さらに大きなバッファサイズに設定を変更してください。一番大きなバッファサイズを選択した場合でもクリック音が聞こえることがあります。これは、ご使用のコンピュータの性能が不十分のため、タスクを処理しきれないことを意味します。(これは、Umix1010Rack シリーズデジタルオーディオインターフェースから発生する音ではありません。)

ProDrive III ホスティングラック



ProDrive III ラックでは、DAW に、お好みの プラグインを使用することができます。DAW を実行することなく、スタンドアロン プラグインエフェクタとして使用することもできます。

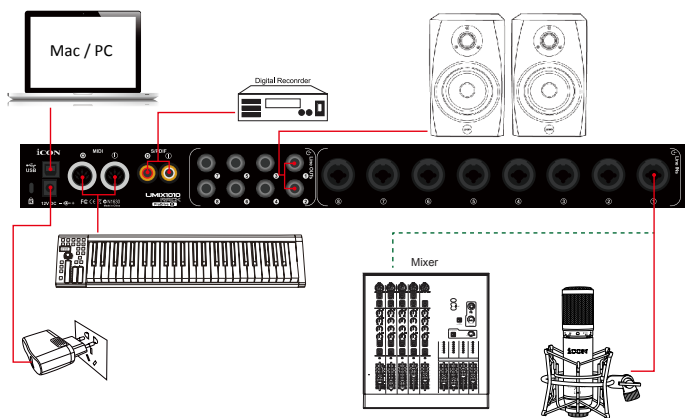
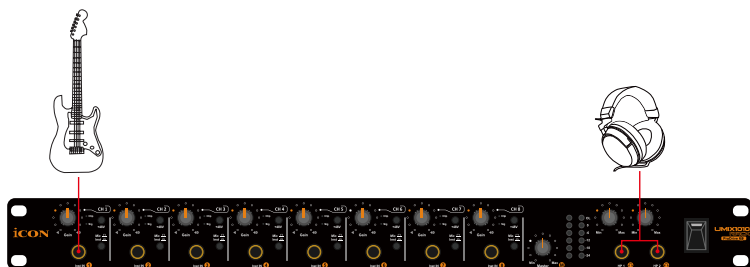
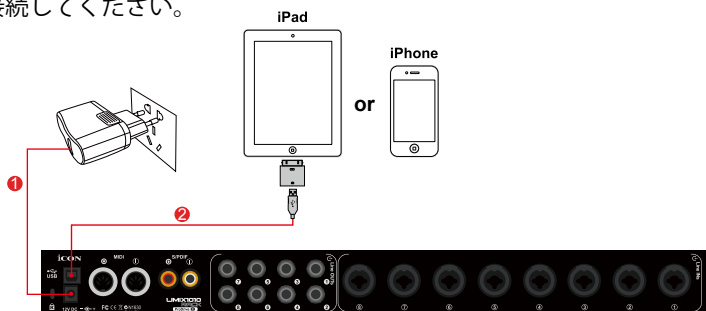
ハードウェアの接続

Umix1010Rack デジタルオーディオインターフェースの出力を、ご使用のアンプやパワードモニターやサラウンドシステムに接続してください。2チャンネルステレオ動作です。デフォルト出力はチャンネル1と2です。

ヘッドホンでモニタする場合、デバイスのヘッドホン出力にヘッドホンを接続してください。

デバイスのアナログ入力には、マイクや楽器、またはその他のラインレベルアナログソースを接続してください。

同軸デジタル I/O に S/PDIF デジタルデバイスを、MIDI I/O に MIDI デバイスをそれぞれ接続してください。



仕様

Mic/Inst Inputs 1-8 (Balanced; at Minimum Gain):

Frequency Response:	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range:	114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio:	-114dB, A-weighted
THD+N:	-100dB
Crosstalk:	-100dB @ 1kHz
Input Impedance:	Inst in: 390K Ohms, typical; Mic in: 1.8K Ohms, typical
Adjustable Gain:	+53dB
Total Gain Range:	+56dB

Line Outputs 1-8 (balanced):

Frequency Response:	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range:	114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio:	-114dB, A-weighted
THD+N:	-100dB
Crosstalk:	-100dB @ 1kHz
Nominal Output Level:	Balanced: +4dBu; Unbalanced: -10dBV
Maximum Output Level:	Balanced: +10.2dBu, typical; Unbalanced: +2.0dBV, typical
Input Impedance:	10K Ohms, typical

Line Outputs 1-8 (balanced):

Frequency Response:	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range:	114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio:	-114dB, A-weighted
THD+N:	-100dB
Crosstalk:	-100dB @ 1kHz
Nominal Output Level:	Balanced: +4dBu; Unbalanced: -10dBV
Maximum Output Level:	Balanced: +10.2dBu, typical; Unbalanced: +2.0dBV, typical
Output Impedance:	150 Ohm
Load Impedance:	600 Ohm minimum

Headphone Outputs: 1 & 2 (at Maximum Volume; Into 100 Ohm load):

Frequency Response:	22Hz to 22kHz (+/-1dB)
Power into Ohms:	90 mW into 100 Ohms
THD+N:	<0.06% (-66dB)
Signal-to-Noise Ratio:	-90dB, A-weighted
Max Output Level into 100 Ohms:	+2.0dBV, typical
Output Impedance:	75 Ohm
Load Impedance:	32 to 600 Ohms

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)

2. ダウンロード

3. 詳細情報

4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。

<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送いただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

北米にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
ICON Service Centre
611 Potomac PL Ste 102
Smyrna, 37167-5655 Tennessee.
United States
Tel.: +1 615 540 989

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
Sound Service
GmbH European
Headquarter Moriz-Seeler-Straße
3D-12489 Berlin
Telephone: +49 (0)30 707 130-0
Fax: +49 (0)30 707 130-189
E-Mail: info@sound-service.eu

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。



天猫官方旗舰店  天猫店iconproaudio旗舰店	抖音号  抖音iCON艾肯	哔哩哔哩  B站iCONProAudio	微信公众号  微信号iCON-PRO	官方售后QQ  4006311312.114.qq.com
--	--	---	---	--

中国地区用户

Twitter  www.twitter.com/iconproaudio	Instagram  www.instagram.com/iconproaudio	Facebook  www.facebook.com/iconproaudio	Youtube  www.youtube.com/iconproaudio
--	--	---	--

Website  www.iconproaudio.com	Support  support.iconproaudio.com	Dashboard  iconproaudio.com/dashboard/
--	--	--

www.iconproaudio.com